

東洋炭素株式会社

2022年12月期第2四半期 決算説明資料

2022年8月17日

東洋炭素株式会社

2022年12月期第2四半期 決算概要

1. 2022年12月第2四半期 業績

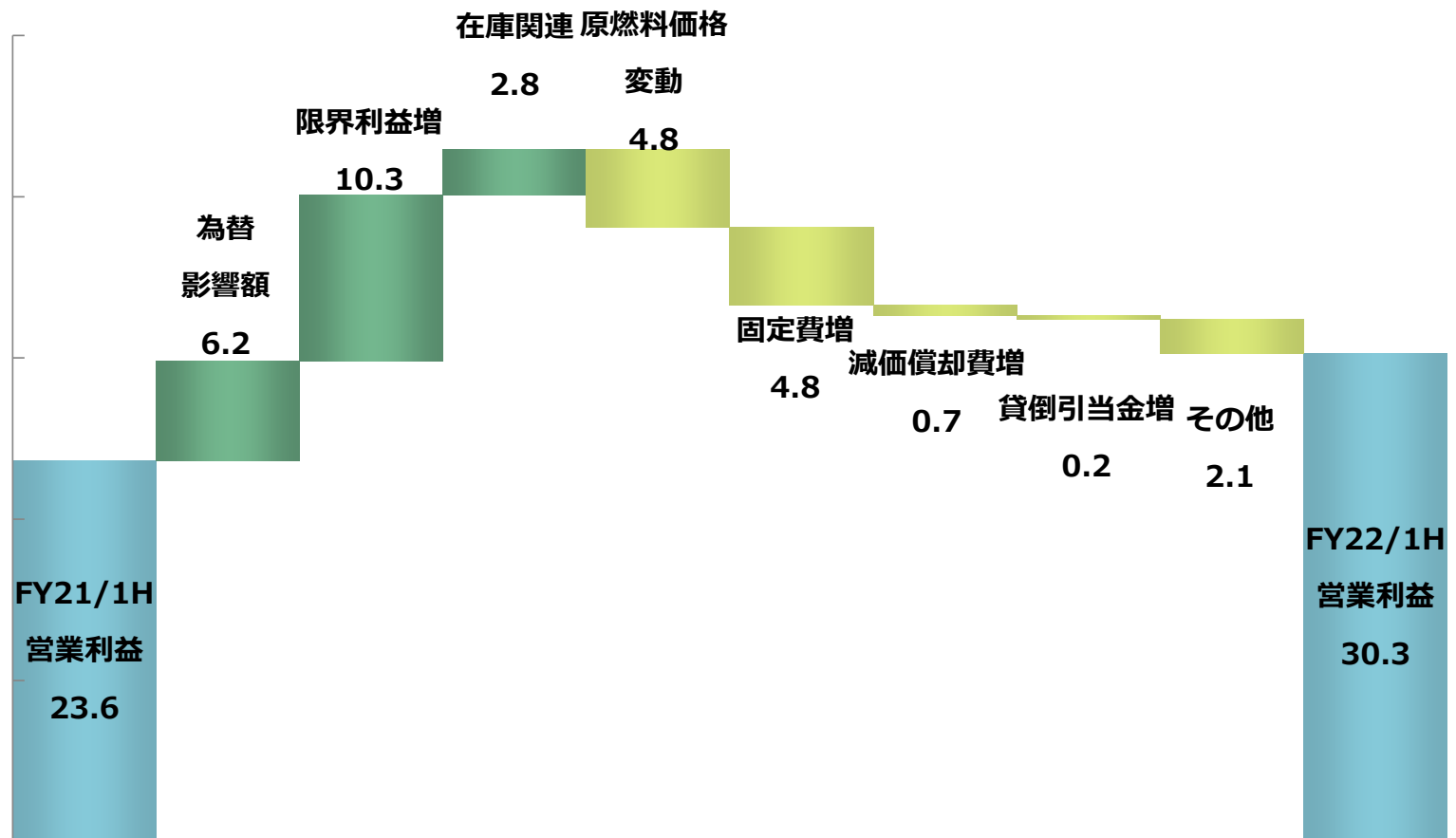
	FY21/1H	FY22/1H			
		(F)	(A)	前年同期比	予想比
(単位：百万円)					
売上高	17,535	20,000	20,293	+ 2,757 / + 15.7 %	+ 293 / + 1.5 %
営業利益	2,366	2,800	3,039	+ 672 / + 28.4 %	+ 239 / + 8.5 %
(売上高営業利益率)	13.5%	14.0%	15.0%		
経常利益	2,779	2,700	3,705	+ 925 / + 33.3 %	+ 1,005 / + 37.2 %
(売上高経常利益率)	15.9%	13.5%	18.3%		
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,824	2,000	2,564	+ 740 / + 40.6 %	+ 564 / + 28.2 %
1株当たり 四半期純利益	86円98銭	95円36銭	122円29銭		
為替レート	107.7円/\$ 129.8円/€ 16.6円/人民元	112円/\$ 126円/€ 17.5円/人民元	122.9円/\$ 134.3円/€ 18.9円/人民元		

2. 営業利益増減要因

(2021年12月期1H vs2022年12月期1H)

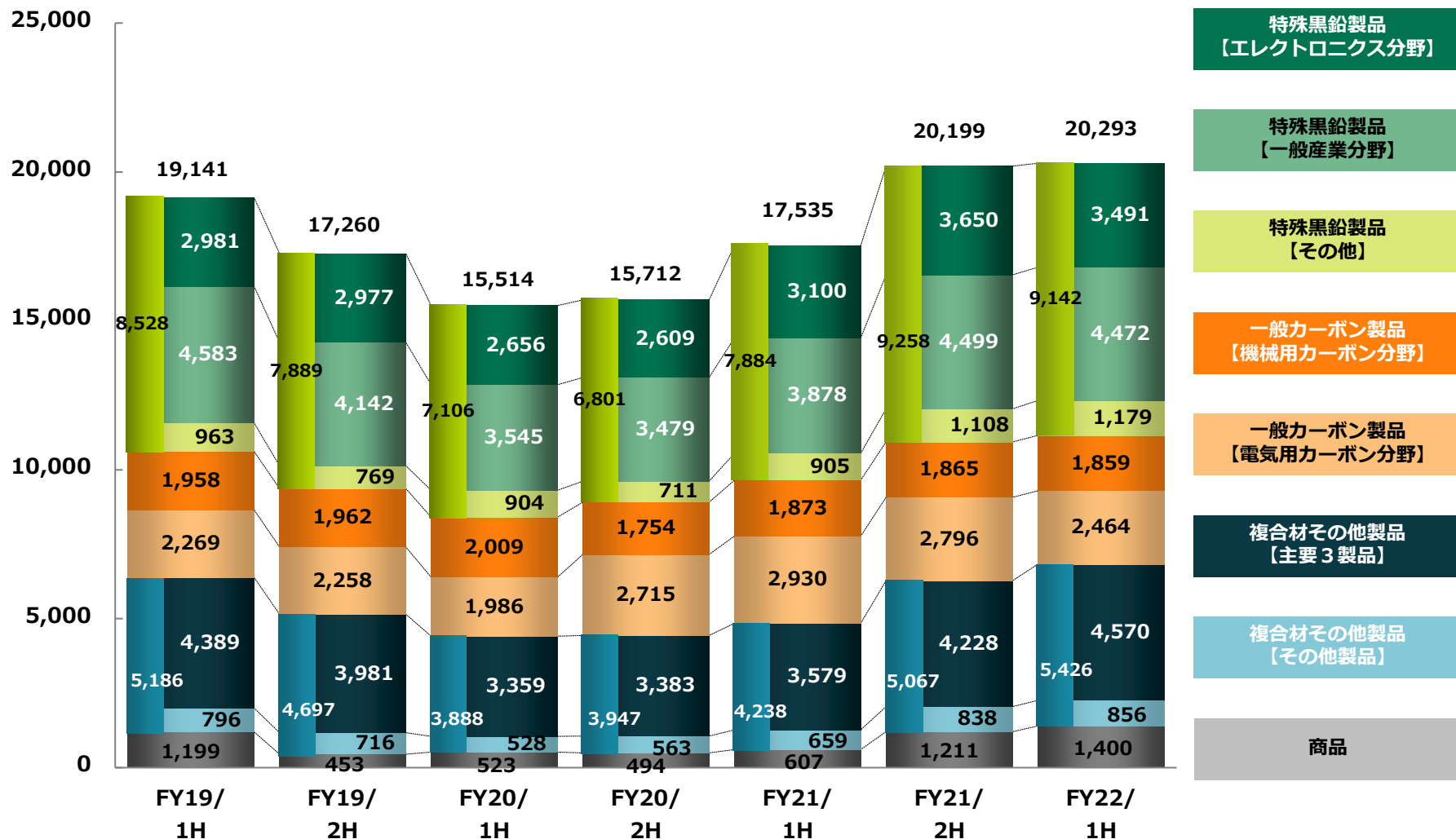
✓ 資源高・人件費増の影響あるも、売上増と為替影響で前年同期比+28.4%

(単位：億円)



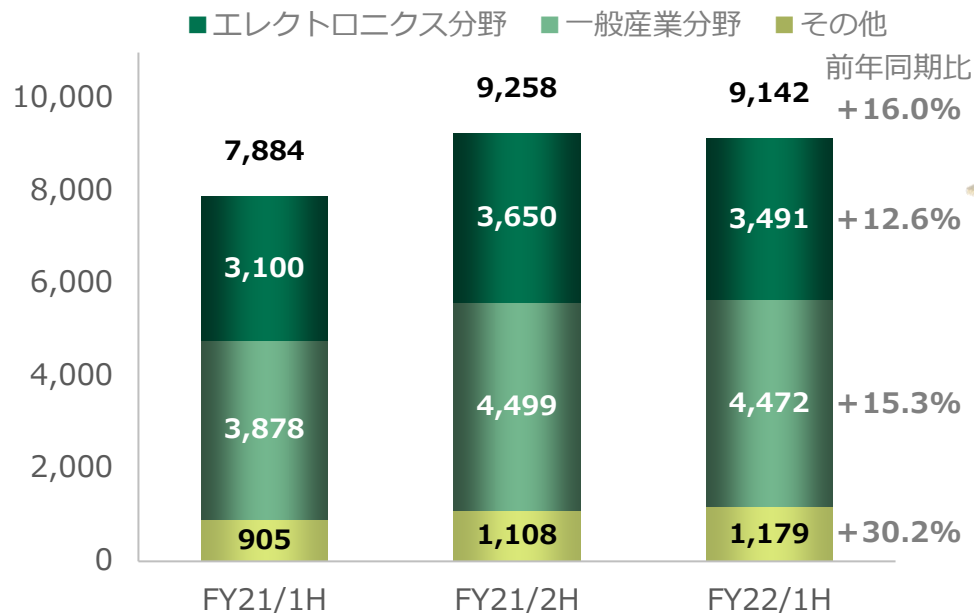
3. 製品・分野別売上高

(単位：百万円)

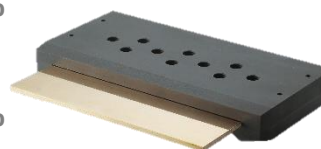


3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

(単位：百万円)



連続鋳造用ダイス



単結晶シリコン製造装置



放電加工電極

【エレクトロニクス分野】

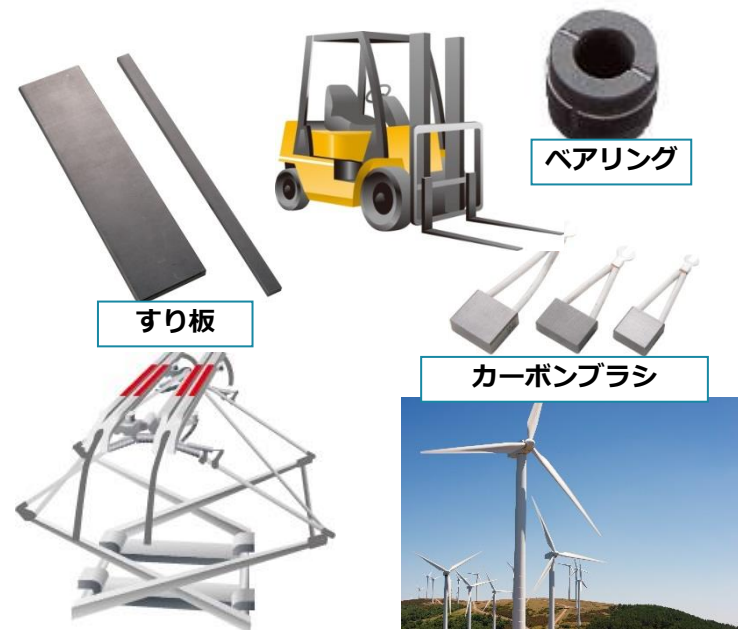
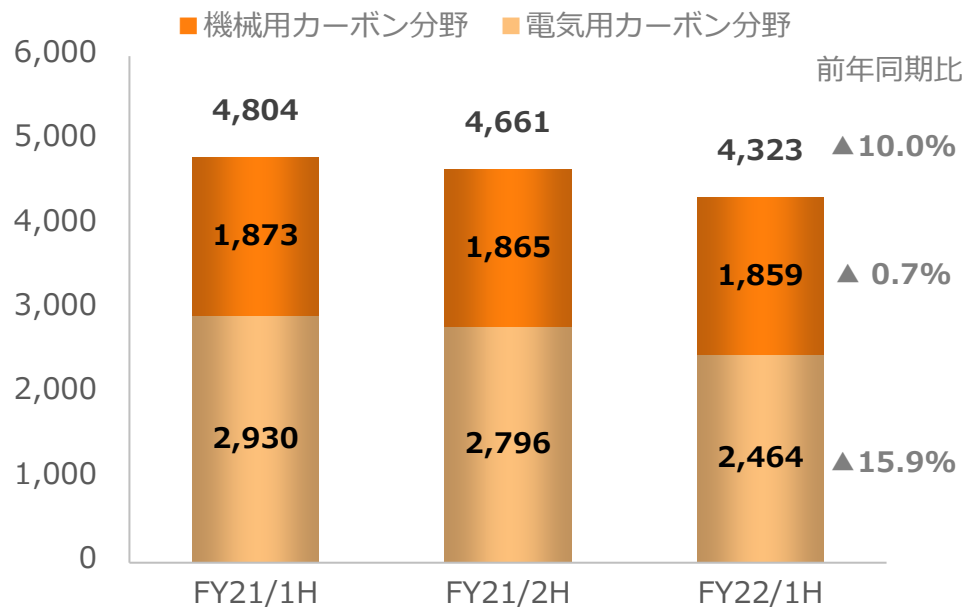
太陽電池製造用は、市場環境（原料価格高騰の影響等で中国太陽電池メーカーの稼働低下）と自社戦略（高付加価値案件に絞った選別受注）により前年同期比・計画比ともに大幅ダウン。一方、単結晶シリコン製造用・SiC単結晶製造用途を中心とした化合物半導体製造用は引き合い強く、いずれも前年同期比大幅増。これにより太陽電池製造用の構成比ダウン、化合物半導体製造用の存在感高まる。

【一般産業分野】

冶金用では連続鋳造用や工業炉用が前年同期比大幅増、放電加工電極も堅調で全般的に順調に推移。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

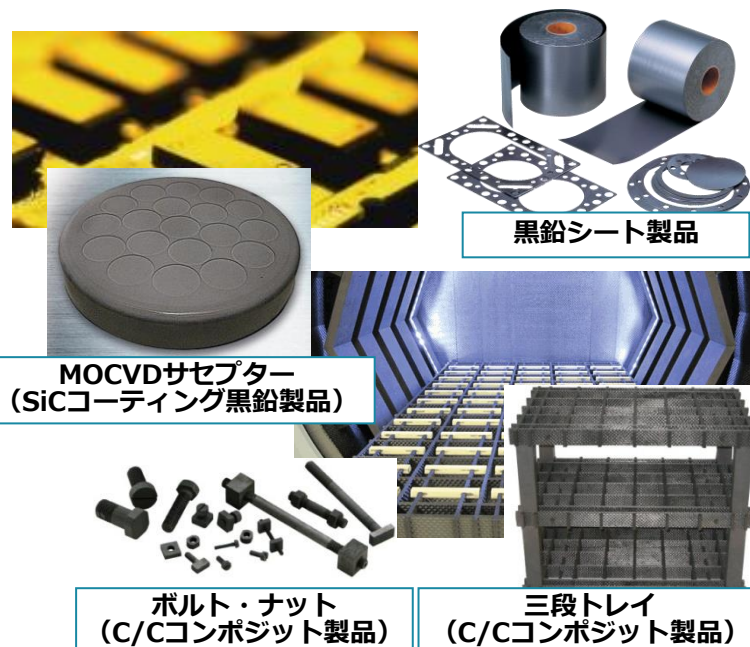
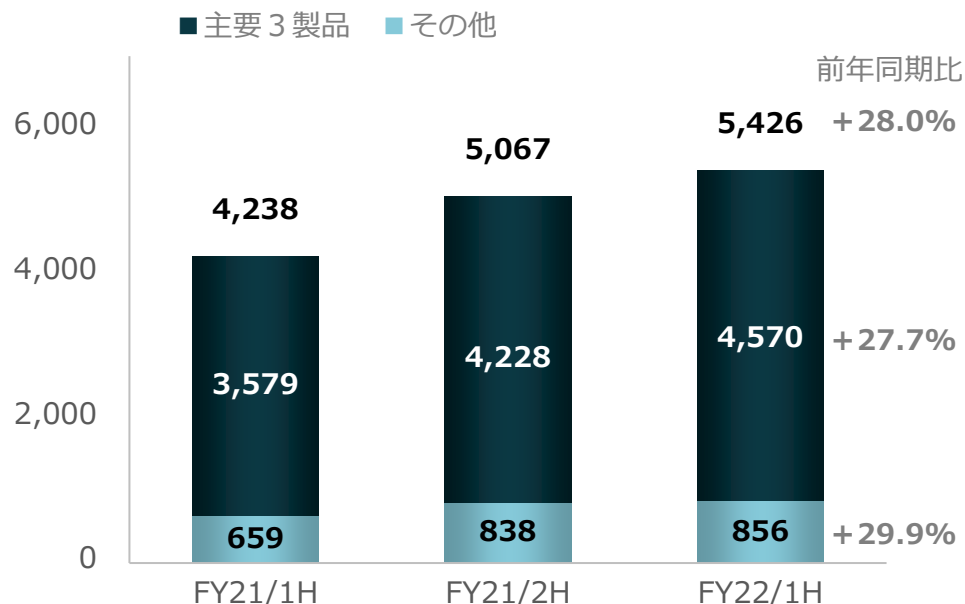
軸受・シールリングの安定した需要に支えられ、前年同期並みの着地。

【電気用カーボン分野】

前年同期に過去最高売上を記録したカーボンブラシ製品は、巣ごもり需要の一巡・中国関係会社の操業停止の影響等で、家電・電動工具向け中心に第2四半期に入り調整色が強まり大幅ダウン。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

(単位：百万円)



【主要3製品】

SiCコーティング黒鉛製品は、シリコン/SiC半導体用途が大幅に増加し、半期で過去最高売上を達成。2021年完成の増強設備も徐々に寄与。

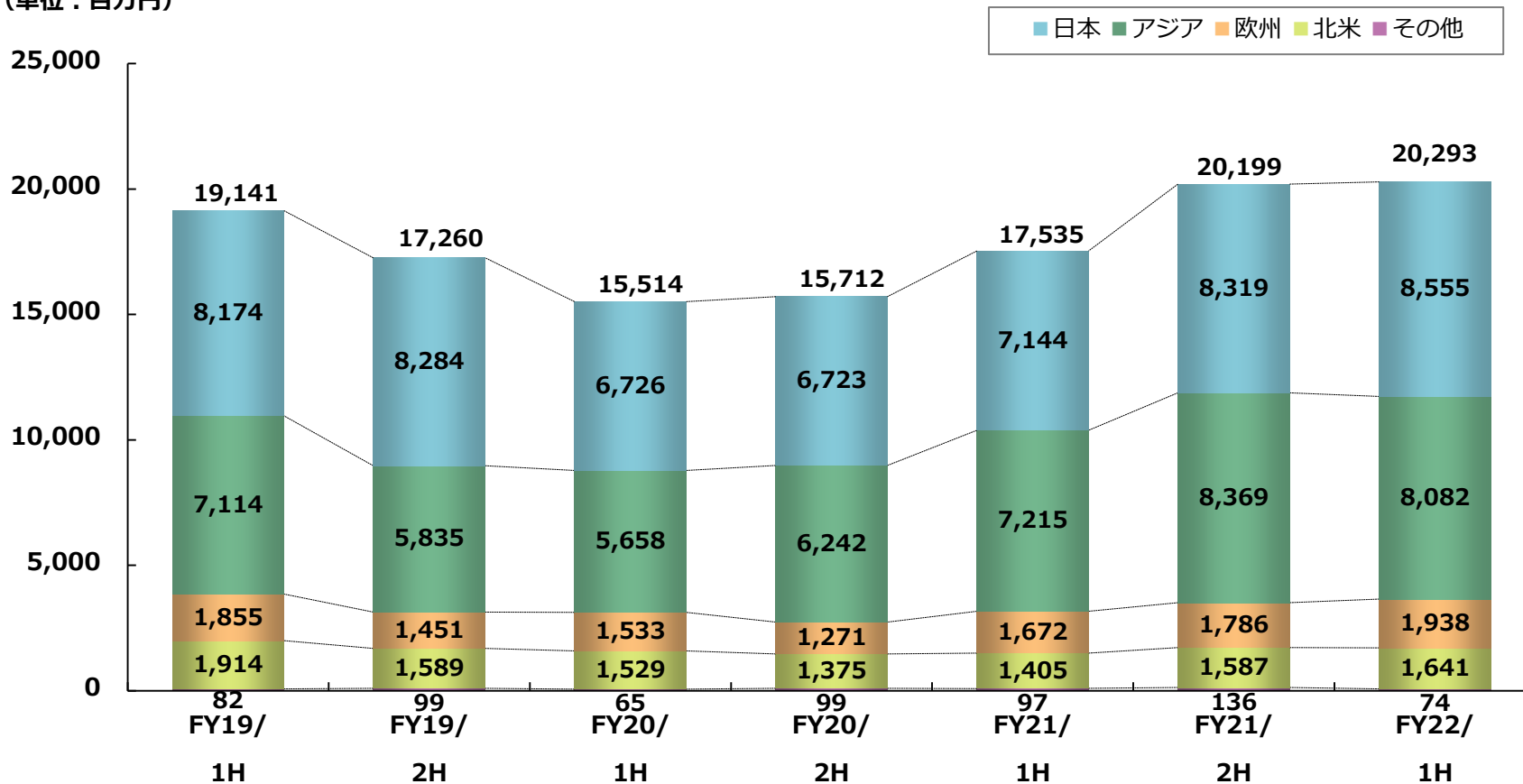
C/Cコンポジット製品は、工業炉用は販促効果により、半導体用は市場の強い需要を背景に、ともに好調。太陽電池用はボリューム少ないながらも前年同期比では着実に増加。

黒鉛シート製品は、半導体用途の需要に加え、冶金用途の需要も強く、自動車用途の低迷をカバー。

4. 地域別売上高

✓ ロックダウンにより中国関係会社は一時的に操業停止となるも
堅調な受注と為替影響で各地域とも前年同期比ではプラス

(単位：百万円)



5. 2022年12月期第2四半期

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)			連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	21/6月末	21/12月末	22/6月末		FY21/1H	FY22/1H
資産合計	78,917	83,655	87,847	現金及び現金同等物 の期首残高	12,093	12,470
受取手形及び売掛金	12,498	14,198	15,373	現金及び現金同等物 の増減額	▲ 638	▲ 199
棚卸資産	15,776	16,023	17,981	現金及び現金同等物 の四半期末残高	11,455	12,270
有形固定資産	29,853	31,046	31,604	営業活動によるCF	3,568	3,032
負債・純資産合計	78,917	83,655	87,847	投資活動によるCF	▲ 3,362	▲ 2,489
有利子負債	209	199	219	財務活動によるCF	▲ 1,174	▲ 1,342
資本金	7,947	7,947	7,947			
純資産	68,657	72,256	76,012			
自己資本比率	86.9%	86.3%	86.5%			

2022年12月期 業績予想

1. 2022年12月期 業績予想

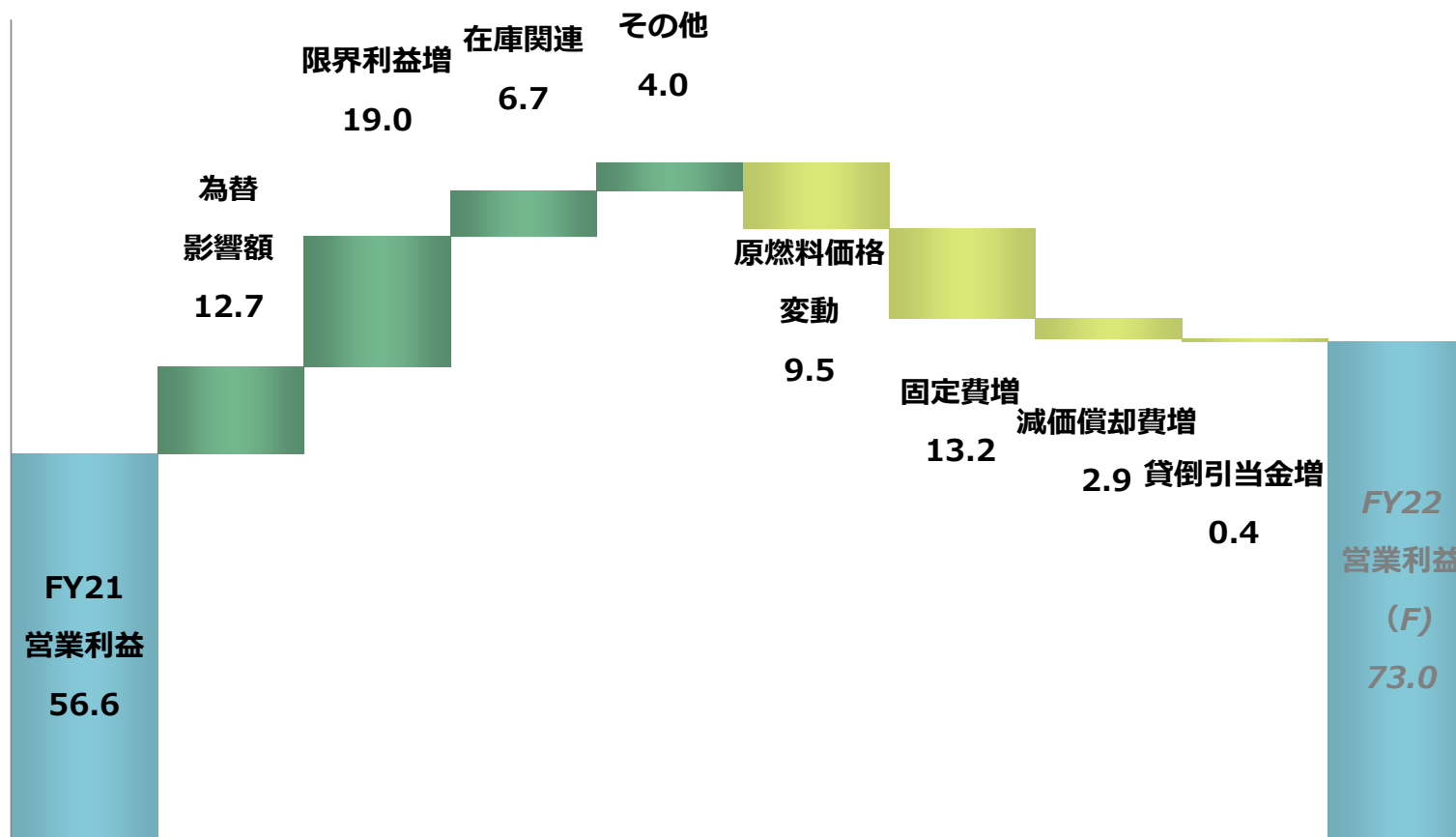
(単位：百万円)	FY21		FY22					
	内訳		前回 (F) *	今回 (F)	内訳		前期比	前回予想比
売上高	37,734	1H	42,000	43,000	1H (A)	20,293	+ 5,265 / + 14.0 %	+ 1,000 / + 2.4 %
		2H			2H (F)			
営業利益	5,666	1H	7,000	7,300	1H (A)	3,039	+ 1,633 / + 28.8 %	+ 300 / + 4.3 %
		2H			2H (F)			
(売上高営業利益率)	15.0%		16.7%	17.0%				
経常利益	6,264	1H	6,900	7,600	1H (A)	3,705	+ 1,335 / + 21.3 %	+ 700 / + 10.1 %
		2H			2H (F)			
(売上高経常利益率)	16.6%		16.4%	17.7%				
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,465	1H	5,000	5,300	1H (A)	2,564	+ 834 / + 18.7 %	+ 300 / + 6.0 %
		2H			2H (F)			
1株当たり 当期純利益	212円94銭	1H	238円41銭	252円71銭	1H (A)	122円29銭		
		2H			2H (F)			
ROE	6.4%		6.7%	7.0%				
為替レート	109.8円/\$		112円/\$		(2H前提)			
	129.9円/€		126円/€		128円/\$			
	17.0円/人民元		17.5円/人民元		133円/€			
			19円/人民元					

* 2022年2月14日公表

2. 営業利益増減要因 (2021年12月期 vs 2022年12月期)

✓ 資源高の影響や人件費の大幅増に加え、償却負担も増加するものの
売上増加による限界利益増と為替影響で前期比+28.8%の増益

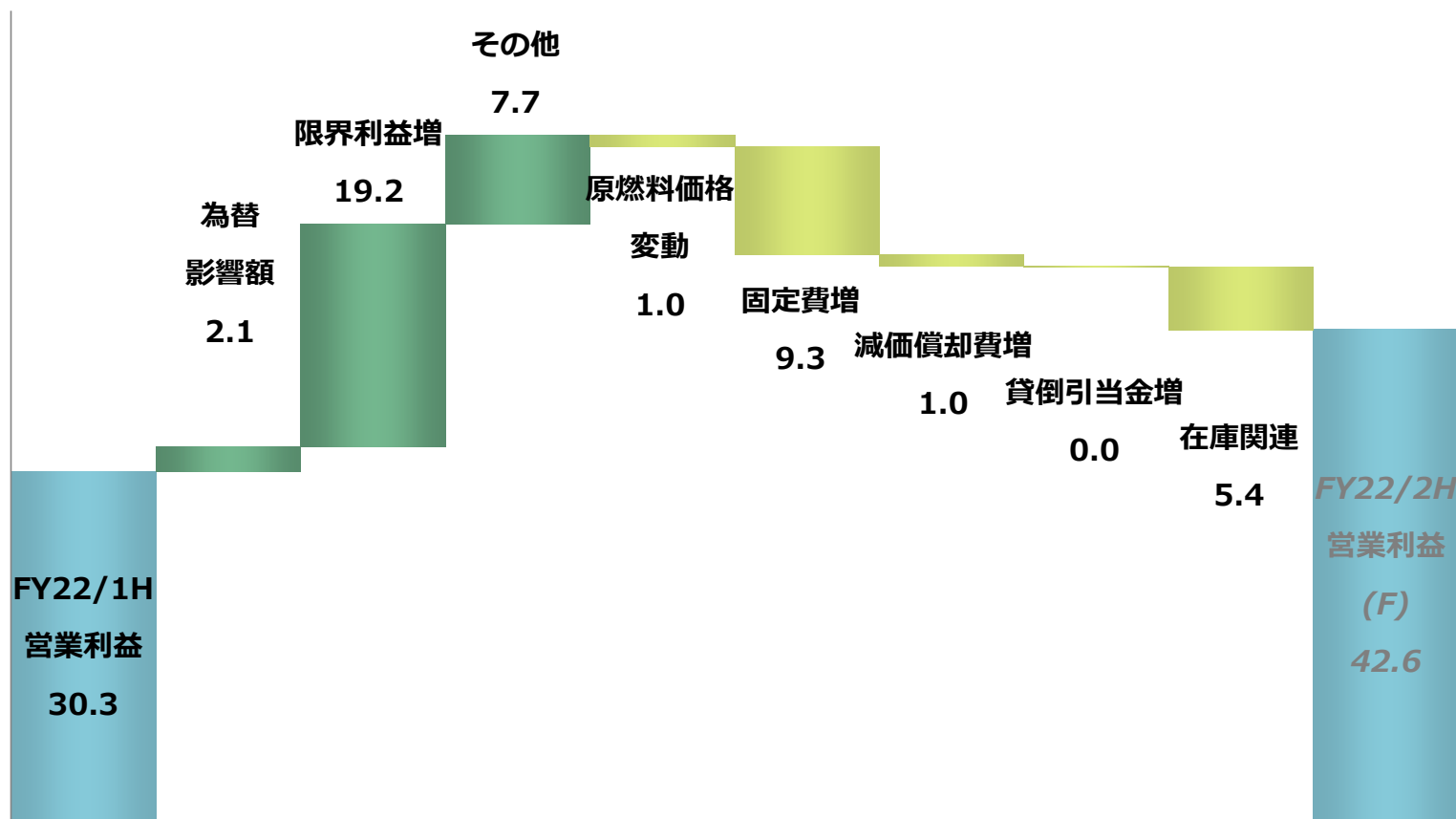
(単位：億円)



2. 営業利益増減要因 (2022年12月期1H vs 2H)

✓ 人件費等の固定費増加も、売上増加等による限界利益増で+40.2%の増益

(単位：億円)



3. 製品・分野別売上高

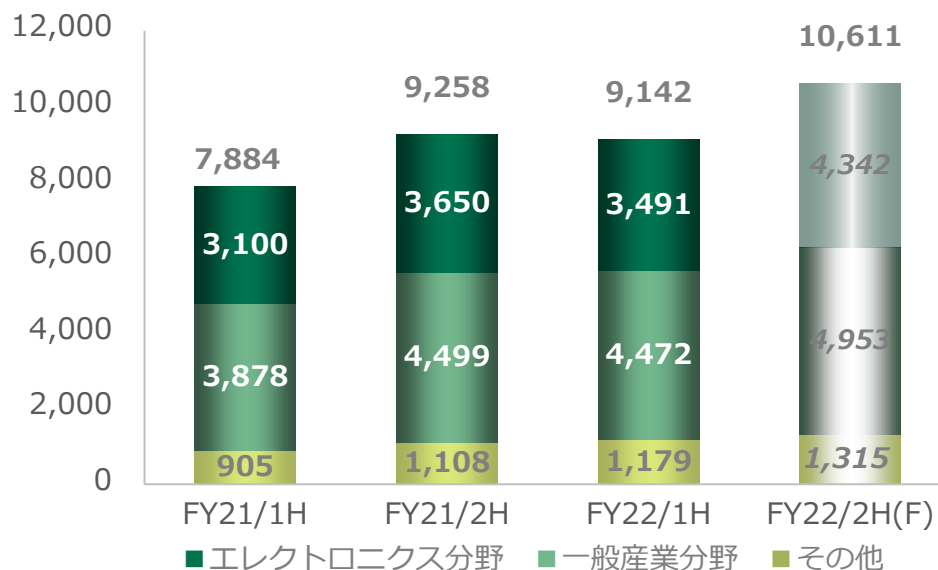
製品・分野別 (単位：百万円)	FY21			FY22					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H (F)	増減 (%)	通期	増減 (%)
特殊黒鉛製品	7,884	9,258	17,143	9,142	+16.0%	10,611	+14.6%	19,754	+15.2%
エレクトロニクス分野	3,100	3,650	6,751	3,491	+12.6%	4,342	+19.0%	7,833	+16.0%
一般産業分野	3,878	4,499	8,377	4,472	+15.3%	4,953	+10.1%	9,425	+12.5%
その他	905	1,108	2,013	1,179	+30.2%	1,315	+18.7%	2,494	+23.9%
一般カーボン製品（機械用）	1,873	1,865	3,738	1,859	▲0.7%	1,833	▲1.7%	3,693	▲1.2%
一般カーボン製品（電気用）	2,930	2,796	5,727	2,464	▲15.9%	2,540	▲9.2%	5,004	▲12.6%
複合材その他製品	4,238	5,067	9,306	5,426	+28.0%	6,124	+20.9%	11,550	+24.1%
主要3製品	3,579	4,228	7,808	4,570	+27.7%	5,302	+25.4%	9,872	+26.4%
その他	659	838	1,497	856	+29.9%	822	▲1.9%	1,678	+12.1%
商品	607	1,211	1,819	1,400	+130.4%	1,596	+31.8%	2,996	+64.7%
合計	17,535	20,199	37,734	20,293	+15.7%	22,706	+12.4%	43,000	+14.0%

3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY21			FY22					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H (F)	増減 (%)	通期	増減 (%)
特殊黒鉛製品	7,884	9,258	17,143	9,142	+16.0%	10,611	+14.6%	19,754	+15.2%
エレクトロニクス分野	3,100	3,650	6,751	3,491	+12.6%	4,342	+19.0%	7,833	+16.0%
一般産業分野	3,878	4,499	8,377	4,472	+15.3%	4,953	+10.1%	9,425	+12.5%
その他	905	1,108	2,013	1,179	+30.2%	1,315	+18.7%	2,494	+23.9%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



【エレクトロニクス分野】

- ・単結晶シリコン製造用は引き続き需要強く、2Hで一段の増加。
- ・化合物半導体製造用の需要も強く、単結晶シリコン製造用の売上規模に迫る勢い。
- ・太陽電池製造用は選別受注継続。黒鉛需給タイトで、他の用途含む高付加価値案件へ優先的に生産キャパ割り当て。

【一般産業分野】

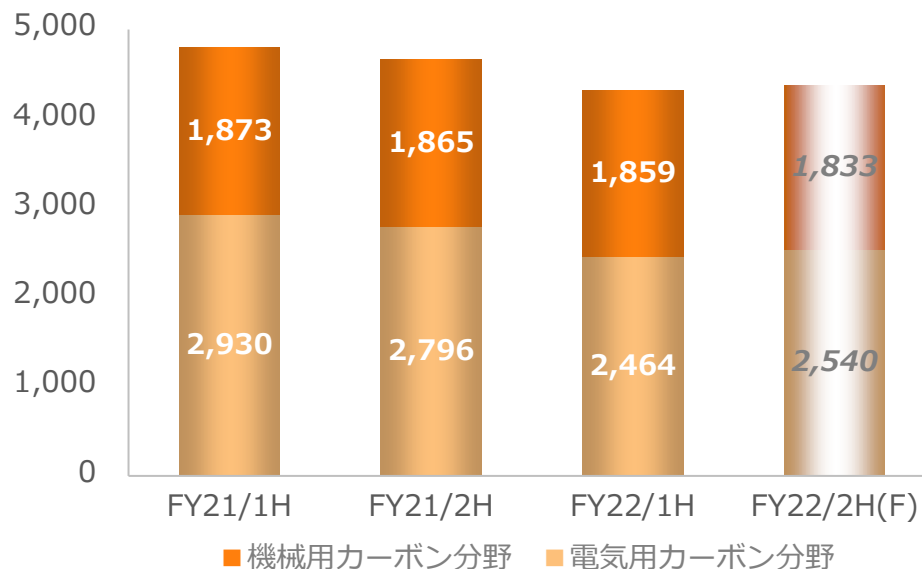
- ・放電加工電極や工業炉・連続鋳造用などの冶金用は引き続き好調で、過去最高売上を見込む。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY21			FY22					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H (F)	増減 (%)	通期	増減 (%)
一般カーボン製品 (機械用)	1,873	1,865	3,738	1,859	▲0.7%	1,833	▲1.7%	3,693	▲1.2%
一般カーボン製品 (電気用)	2,930	2,796	5,727	2,464	▲15.9%	2,540	▲9.2%	5,004	▲12.6%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

- 軸受・シールリングは、2H以降も安定した水準を維持。

【電気用カーボン分野】

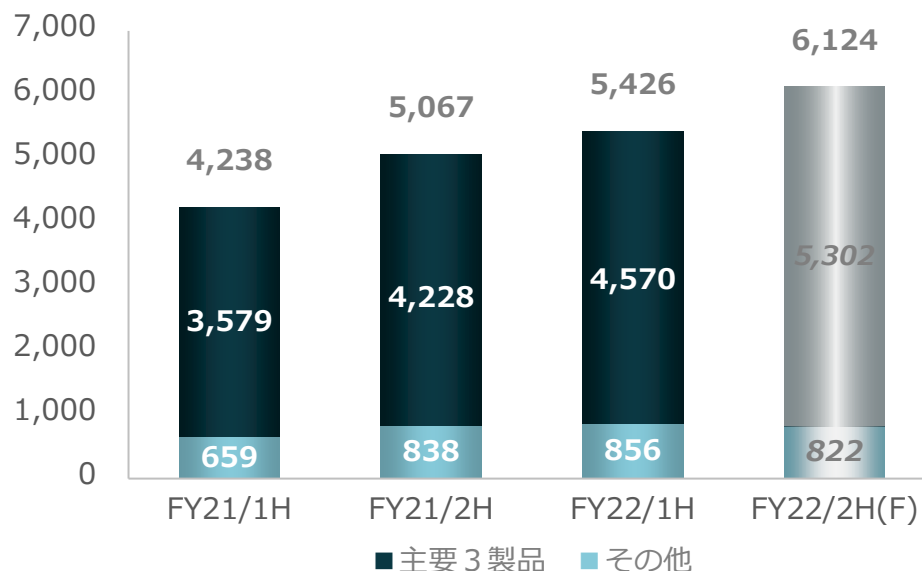
- 家電、電動工具向け小型モーター用の需要は、巣ごもり需要の一巡に加え、中国のサプライチェーン混乱の影響を引きずり、経済停滞感の強まる欧州での消費減速が予想されるなど、前年同期比減となる見込み。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY21			FY22					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H (F)	増減 (%)	通期	増減 (%)
複合材その他製品	4,238	5,067	9,306	5,426	+28.0%	6,124	+20.9%	11,550	+24.1%
主要3製品	3,579	4,228	7,808	4,570	+27.7%	5,302	+25.4%	9,872	+26.4%
その他	659	838	1,497	856	+29.9%	822	▲1.9%	1,678	+12.1%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



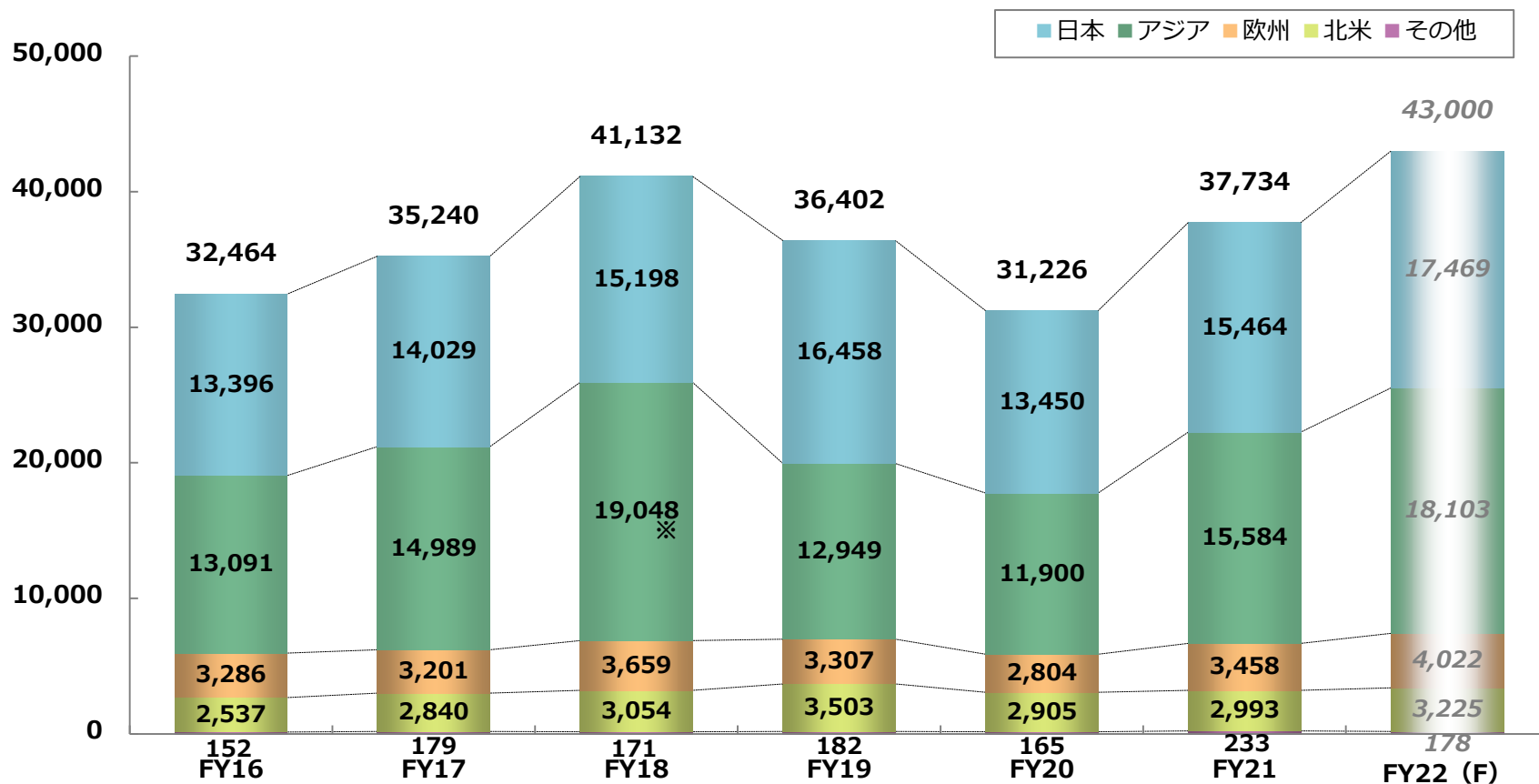
【主要3製品】

- ・ SiCコーティング黒鉛製品は、増強能力フル活用し、強い需要に対応。中でもSiC半導体用途の伸び顕著で、中期的にも高成長を見込む。
- ・ C/Cコンポジット製品は、工業炉用・半導体用・太陽電池用、いずれも好調で大幅増。
- ・ 黒鉛シート製品は、半導体用途や冶金用途が好調で、自動車用途の目減り分をカバー。

4. 地域別売上高

✓ 各地域順調で、特に日本・アジアは前期比大幅増

(単位：百万円)



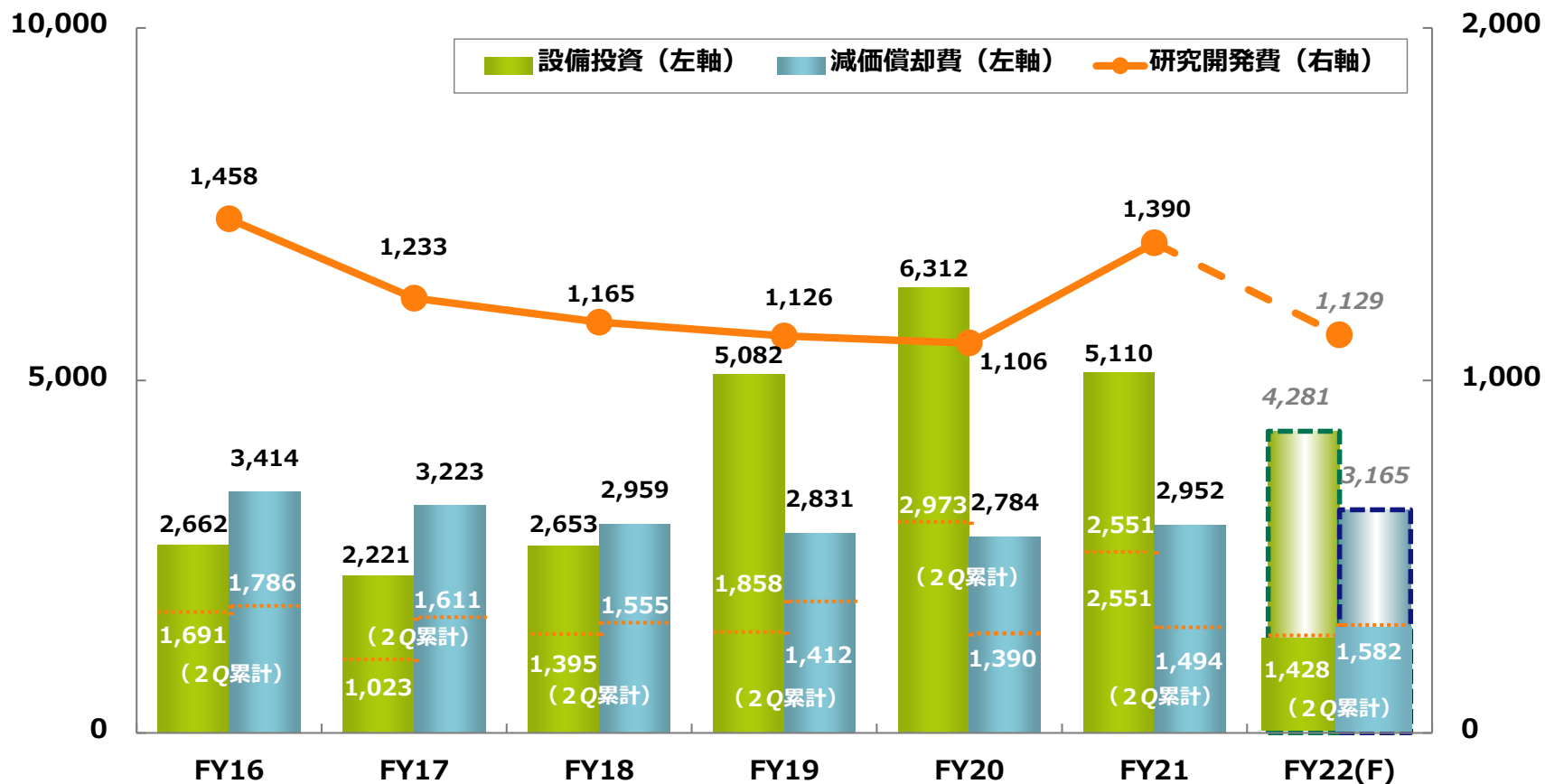
※ FY18のアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

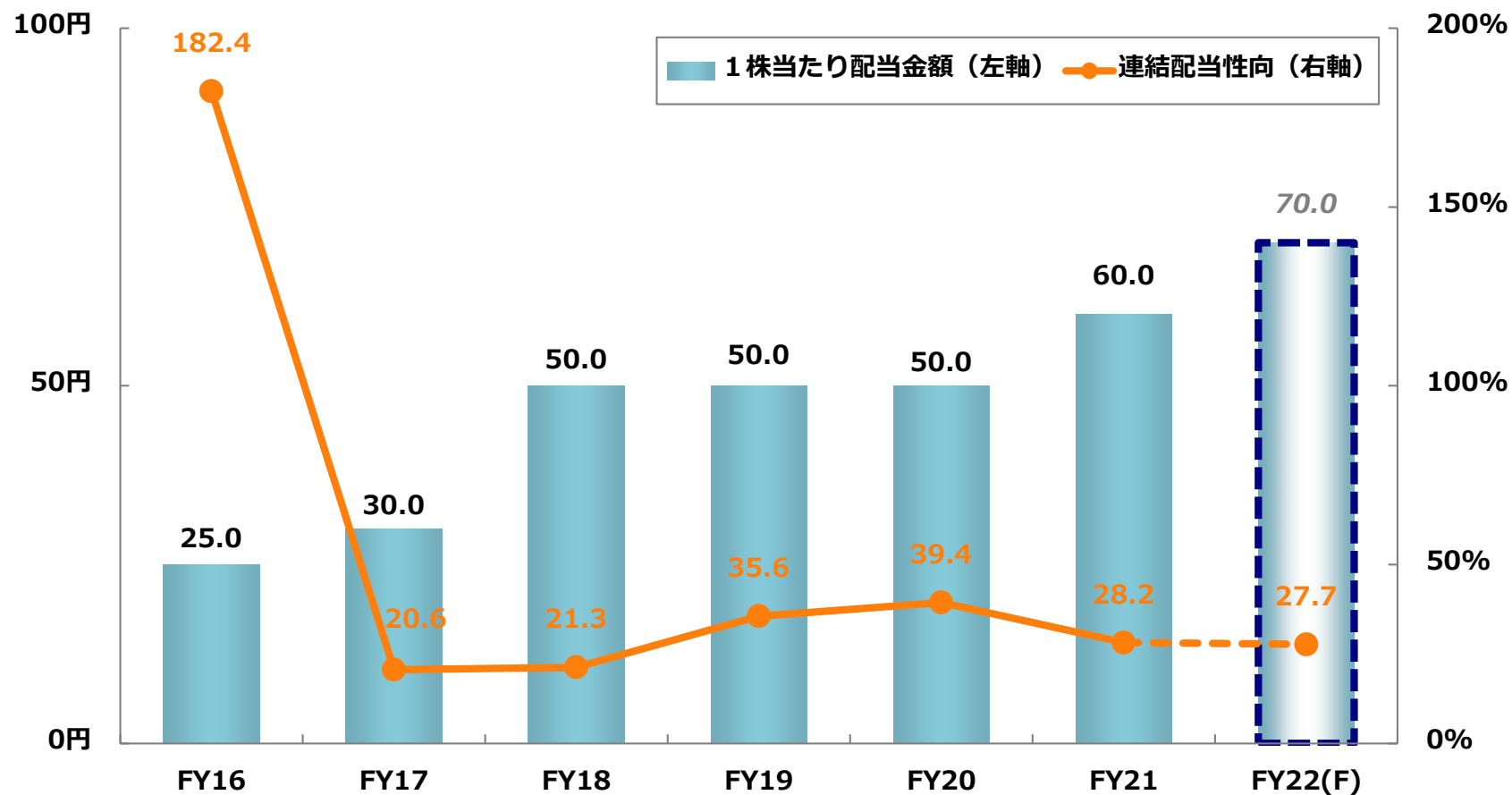
✓ 設備投資は期初計画よりやや圧縮も
高付加価値化・生産性向上に向けた投資はグループ各社で着々と進行

(単位：百万円)

(単位：百万円)



✓ 利益水準・投資等の資金需要を見極め、今期配当決定予定





(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

〈お問合せ先〉

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 06-6472-5811(代)

E-mail : ir@toyotanso.co.jp